

平成 24 年度 シラバス	学年・期間・区分	5 年次 ・ 通年 ・ 必修
	対象学科・専攻	土木工学科
卒業研究 (Graduation Research)	担当教員	岡林 巧 (Okabayashi, Takumi) 他 都市環境デザイン工学科教員 10 名
	教員室	都市環境デザイン工学科棟 3 階 (TEL : 42-9116)
	E-Mail	okabaya@kagoshima-ct.ac.jp
教育形態/単位の種別/単位数	実験・実習 / 履修単位 / 9 単位	
週あたりの学習時間と回数	前期: 授業 (300 分) × 15 回 + 後期: 授業 (600 分) × 15 回	
<p>[本科目の目標] 土木工学科に関する研究題目について実験・研究を行い、その結果を卒業研究発表会で発表し、卒業研究報告書にまとめる。一連の研究過程を実際に経験し、諸問題を解決する能力や土木工学に関する技術者・研究者となるための能力を養う。これらを通じて以下の項目を習得する。1.技術者として社会への貢献と責任。2.自主的に計画・立案し継続的に学習を行う能力。3.論文内容を要約して報告するプレゼンテーション能力。4.研究成果を論文としてまとめ記述する能力。</p>		
<p>[本科目の位置付け] 卒業研究の題目により重点的に必要となる科目は異なるが、1 年次から 5 年次までの全授業科目が関連する。</p>		
<p>[学習上の留意点] 各研究課題の割振りは年度開始時に通知する。教員の指示を待たず、各自独力で研究を計画的に進めること。研究課題によっては、正課の時間外に行うこともある。担当教員の指導のもと研究に関する資料に目を通すこと。また、以下の項目を達成できるように取り組むこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術者として社会への貢献と責任を理解する。 ・自主的に計画・立案し継続的に学習を行う能力を養う。 ・論文内容を要約して報告するプレゼンテーション能力をつける。 ・研究成果を論文としてまとめ記述する能力を養う。 		
[授業の内容]		
研究テーマ / 研究分野		担当教員
・ 橋梁の動的応答特性		内谷
・ 土の土質力学的性質		岡林
・ 環境工学、衛生工学		西留
・ 廃棄物工学、材料工学		前野
・ 環境工学、廃棄物工学		山内
・ 材料力学、岩盤力学		堤
・ 国土計画、都市計画、土地利用計画		内田
・ 建築デザイン、建設工学		岡松
・ 材料学、土木材料、コンクリート工学		池田
・ 環境工学、衛生工学、廃棄物工学		山田
・ 建築デザイン、建設工学		毛利
[教科書] 各担当教員から適時指示する		
[参考書・補助教材]		
[成績評価の基準] 卒業研究中の態度(60%)、前刷や論文のまとめ方(20%)、研究発表会(20%)などを総合して評価する		
[本科 (準学士課程) の学習教育目標との関連] 1-b, 2-a, 3-b, 3-d		
[教育プログラムの学習・教育目標との関連] 2-2, 3-2, 3-3		
[JABEE との関連] (c), (d)(2b), (g), (h)		

Memo
